

置塩城跡【国指定史跡】

置塩城は夢前川の東の岸にある、高さ370mの山の頂上にありました。本丸・二の丸・三の丸をはじめ、土や石の垣根などのお城の跡がたくさん残っています。東西約600m、南北約400mに広がる播磨地方では最大級の山城の跡です。赤松政則が建てたお城と伝えられています。

行った日



置塩山法界寺

書写山円教寺に関係があるお寺です。性空上人が開いたといわれています。享保7年(1722)に薬師堂に建て直され、昭和46年(1971)に現在の場所に移されました。薬師如来と日光・月光菩薩がまつられています。十二神将もまつられています。

行った日



北野神社

長保2年(1000)ごろ巨智延昌が建てたといわれています。元禄13年(1700)に建て直され、菅原道真がまつられています。境内には、武蔵坊弁慶の母の墓といわれる石仏があり、この墓石を削って飲むと大変ご利益があるといわれています。

行った日



旧城下町・町村

置塩城があったころは、町村は小塩町とよばれ、城下町として栄えていました。今も横大道や筋や武家小路という地名やたくさんのお店の名前が残っています。5代目のお城の殿さま、赤松則房が戦わないで羽柴秀吉に従うことにし、置塩城は壊されました。

行った日



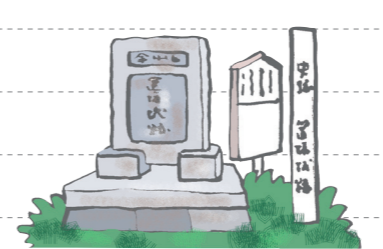
三宝山浄安寺

置塩城の3代目の殿さま赤松晴政が赤松家の先代々を供養するお寺として建てたと伝えられています。今の本堂は慶応2年(1866)に建て直されました。境内には「永正15年」(1518)と彫られた宝篋印塔があって、2代目の殿さま赤松義村を弔う塔だといわれています。

行った日



61 置塩地区



この地区は、昔、置塩城があり、城下町として栄えていました。人々はどんな暮らしをしていたのでしょうか。城跡から旧城下町まで、昔のものが残っているのが調べてみましょう。



調べたこと、わかったことを書いてみよう!



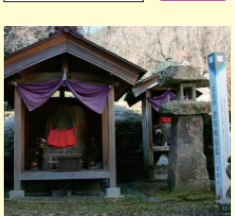
- 遺跡・史跡
- 神社・仏閣
- 歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

0m 500m 1km

書写吹石仏

自然の石を彫ってつくったお地藏さまです。この石仏は、昔、夢前川に流されてしまったところを村人が発見し、ここにまつられたといわれていて、「掘り上げ地藏」ともよばれています。

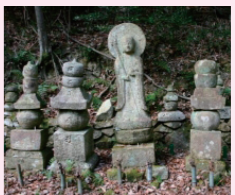
行った日



長福山松安寺跡墓石群

松安寺は、赤松義祐が先祖代々を供養するためのお寺として建てました。建物は昭和50年(1975)に壊れてしまいました。義祐・晴政・晴政の妹の五輪塔が並んでいます。お地藏さまは義祐がつくったといわれていて、すばらしい像として有名です。

行った日



富田山性海寺

霊亀年間(715~717)に徳道上人が開いたといわれている天台宗のお寺です。歴代の置塩城の殿さまが信仰していました。十一面観音は高さ1.8mもあり、観音さまの中に赤松政則が身近にいたおさまがおさめられているといわれています。本堂の前には幹の周りが約2mもあるみごとな五葉松があります。

行った日



櫃蔵神社(夢前町宮置)

まつられているのは豊受姫命、大年大神、若年大神です。延元5年(1340)に建てられたと伝えられています。置塩城5代目の殿さま赤松則房が、天正5年(1577)に羽柴秀吉に従ってお城を明け渡したとき、お城の守り神を櫃蔵神社と糸田の柏森神社、香寺町御屋の櫃倉神社の三か所に分けました。

行った日



水室池

天保13年(1842)、姫路城の殿さまが酒井忠学だったころに、夢前町玉田と安室の六つの村が農業用の水をためるためにつくった池です。池のまわりは約4km以上あり、その当時としてはひじょうなかでもトップクラスの大きな池でした。今は農業用としては使われていません。

行った日

